



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月7日

上場会社名 サンネクスタグループ株式会社
 コード番号 8945 URL <https://www.sunnexa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 章
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務グループ長 (氏名) 吉田 勇
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5229-8839

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	6,206	△2.3	522	△9.4	546	△6.5	296	△16.7
2020年6月期第3四半期	6,353	2.7	576	△1.2	584	△1.7	355	△7.1

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 1,044百万円 (—%) 2020年6月期第3四半期 △143百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	29.87	28.85
2020年6月期第3四半期	36.83	35.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	13,581	8,112	58.9
2020年6月期	10,361	7,259	68.7

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 7,994百万円 2020年6月期 7,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	13.00	—	15.00	28.00
2021年6月期	—	15.00	—		
2021年6月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,550	△0.9	780	△8.8	840	△6.9	490	△12.7	49.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 日本社宅サービス株式会社 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期3Q	11,137,600 株	2020年6月期	10,876,900 株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	1,146,888 株	2020年6月期	1,146,888 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期3Q	9,922,612 株	2020年6月期3Q	9,663,473 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、段階的に経済活動を再開し、緩やかな回復の兆しも見られましたが、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響から事業活動の制限が続いており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境は、当社グループの基盤事業であります社宅マネジメント事業とマンションマネジメント事業にも影響を与えておりますが、お客様や従業員の安全確保に注意を払い、新型コロナウイルス感染拡大への対策を講じながらサービスを継続しております。

しかしながら、社宅マネジメント事業の一部の顧客企業において、投資の意思決定に遅れがみられました。また、マンションマネジメント事業においても、営業自粛を行ったことや、マンション管理組合の理事会・総会の開催延期による影響等から、新規受注や工事の受注等に遅れが見られ、全般的な持ち直しにはもう少し時間を要するものと見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは、今後の新常态を見据え、様々な環境変化が想定される中で、中期ビジョン「NEXT STANDARD 2025」～アウトソーシングを通じて人の暮らしを豊かにする～の実現に向けて、2025年6月期までの5ヵ年を対象とした中期経営計画を発表しました。

同計画のもと、アウトソーシング事業者としての更なる進化・発展に向けて、アウトソーシング領域の拡大とオペレーションの変革の取り組みを進めました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は新型コロナウイルス感染拡大の影響や前期に発生した一過性の売上の減少により、62億6百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

利益面につきましては、2020年7月1日付けで持株会社体制へ移行したことによる移行・整備コスト等が増加したことにより、営業利益は5億22百万円（同9.4%減）、経常利益は5億46百万円（同6.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、退任取締役に対する特別功労金を贈呈したことや連結子会社であるサンネクスタリーシング株式会社が保有する無形固定資産（のれんを含む）の減損損失を計上したことから、2億96百万円（同16.7%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当社グループでは、第1四半期連結会計期間より、中期ビジョンの実現に向けて、今後、「住まいと暮らしを支える人々のマネジメントスタイルの変革支援」を事業の中心において、住まいの安全・安心・快適を推進することから、マネジメントアプローチによる管理を一層強化するため、報告セグメントの名称変更とサービスの事業軸の見直しを行いました。これにより、「社宅管理事務代行業業」を「社宅マネジメント事業」、「施設総合管理事業」を「マンションマネジメント事業」、「その他事業」を「インキュベーション事業」にそれぞれ変更し、従来「その他事業」に含まれていたコスト削減サービスを「社宅マネジメント事業」に含めることとしました。

また、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期は持株会社移行前であり、セグメントごとの利益の算出が困難なことから、売上高のみ変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

① 社宅マネジメント事業

社宅マネジメント事業においては、コロナ禍における企業内の意思決定に鈍化がみられ、社宅アウトソーシングサービスやコスト削減サービスの新規受注は遅延しているものの、アウトソーシングへの関心は引き続き高い状態にあります。顧客企業の2021年3月期の転勤シーズンにおいても一部異動抑制が働き、手数料収入が減少したものの、既存の受託収入が堅調に推移したことから、売上高は30億60百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は10億21百万円となりました。

② マンションマネジメント事業

マンションマネジメント事業においては、コロナ禍におけるセミナー開催延期等の影響によりストックであるマンション管理の新規受注活動に遅れが生じております。また、前期に見られた台風等の自然災害の修繕工事の減少や理事会等の延期に伴う合意形成の遅れの影響もあり、工事全般が計画を大きく下回って推移いたしました。加えて、リフォームサービスにおいても受注は堅調なものの、コロナ対策から社員の労働時間を抑制した影響等で完工時期に遅れが生じていることや不動産販売においても販売時期に遅れが生じたこと等から、売上高は28億52百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は82百万円となりました。

③ インキュベーション事業

インキュベーション事業においては、24時間対応のコールセンターサービスが順調に増加したことから、売上高は2億93百万円（前年同期比12.7%増）となりました。一方、複数のサービスにおいては未だ投資段階にあることから、営業損失は22百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ32億19百万円増加し、135億81百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ20億76百万円増加し、79億69百万円となりました。これは主に営業立替金の増加29億76百万円、現金及び預金の減少11億19百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ11億43百万円増加し、56億11百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価に伴う投資有価証券の増加11億27百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ23億66百万円増加し、54億68百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ20億15百万円増加し、40億67百万円となりました。これは主に短期借入金の増加20億0百万円、営業預り金の減少1億85百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億50百万円増加し、14億1百万円となりました。これは主にその他に含まれる繰延税金負債の増加3億49百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ8億53百万円増加し、81億12百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加7億47百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期通期の連結業績予想につきましては、2020年8月11日付「2020年6月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2021年5月7日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,704,198	2,584,290
売掛金	306,865	295,260
営業立替金	1,392,395	4,368,494
商品	1,188	1,244
販売用不動産	167,573	141,884
仕掛品	11,186	12,493
原材料及び貯蔵品	11,443	12,656
その他	300,940	558,594
貸倒引当金	△2,921	△5,489
流動資産合計	5,892,871	7,969,430
固定資産		
有形固定資産	666,068	665,758
無形固定資産		
のれん	240,924	212,724
その他	188,391	148,431
無形固定資産合計	429,316	361,155
投資その他の資産		
投資有価証券	3,123,339	4,250,852
その他	249,835	334,063
投資その他の資産合計	3,373,175	4,584,915
固定資産合計	4,468,560	5,611,829
資産合計	10,361,431	13,581,260
負債の部		
流動負債		
買掛金	157,195	138,972
短期借入金	—	2,000,000
未払法人税等	225,141	275,748
営業預り金	624,332	439,204
賞与引当金	35,475	156,693
役員賞与引当金	40,999	9,225
株主優待引当金	3,848	—
その他	964,682	1,047,696
流動負債合計	2,051,675	4,067,541
固定負債		
退職給付に係る負債	178,876	183,898
その他	871,665	1,217,279
固定負債合計	1,050,541	1,401,177
負債合計	3,102,216	5,468,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	836,752	898,182
資本剰余金	1,027,902	1,089,332
利益剰余金	3,706,226	3,706,911
自己株式	△459,582	△459,582
株主資本合計	5,111,299	5,234,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,011,822	2,759,400
その他の包括利益累計額合計	2,011,822	2,759,400
新株予約権	136,094	118,296
純資産合計	7,259,215	8,112,540
負債純資産合計	10,361,431	13,581,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,353,252	6,206,802
売上原価	4,904,906	4,730,867
売上総利益	1,448,346	1,475,935
販売費及び一般管理費	872,235	953,797
営業利益	576,110	522,138
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,480	1,534
受取手数料	1,410	2,030
保険解約返戻金	25	6,733
受取保険金	80	3,826
補助金収入	4,233	8,423
その他	2,586	2,310
営業外収益合計	9,817	24,858
営業外費用		
支払利息	189	105
開業費償却	407	407
その他	1,168	383
営業外費用合計	1,765	897
経常利益	584,161	546,100
特別利益		
新株予約権戻入益	804	3,799
特別利益合計	804	3,799
特別損失		
固定資産売却損	569	—
固定資産除却損	1,885	228
減損損失	—	25,163
役員退職功労金	—	51,300
特別損失合計	2,455	76,692
税金等調整前四半期純利益	582,511	473,207
法人税等	226,523	176,780
四半期純利益	355,987	296,427
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,987	296,427

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	355,987	296,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△499,501	747,578
その他の包括利益合計	△499,501	747,578
四半期包括利益	△143,513	1,044,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△143,513	1,044,005
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結の範囲の重要な変更)

2020年7月1日付で新設分割により新たに設立した、「日本社宅サービス株式会社」(特定子会社)を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	社宅マネジ メント事業	マンション マネジメン ト事業	インキュベ ーション事 業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,050,415	3,042,361	260,475	6,353,252	—	6,353,252
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,025	6,526	51,490	59,042	(59,042)	—
計	3,051,441	3,048,888	311,965	6,412,295	(59,042)	6,353,252
セグメント利益又は損失(△)	571,888	39,295	△38,422	572,761	3,348	576,110

(注)1. セグメント利益又は損失の「調整額」は、セグメント間取引消去であります。

なお、当第3四半期連結累計期間においては、持株会社体制に移行前であり、グループ管理費用等を正確に算出することが実務上困難であるため、移行前の「社宅マネジメント事業」に含めております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	社宅マネジ メント事業	マンション マネジメン ト事業	インキュベ ーション事 業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,060,557	2,852,722	293,523	6,206,802	—	6,206,802
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	732	5,120	51,965	57,818	(57,818)	—
計	3,061,289	2,857,843	345,489	6,264,621	(57,818)	6,206,802
セグメント利益又は損失(△)	1,021,976	82,625	△22,642	1,081,958	△559,820	522,138

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△559,820千円は、セグメント間取引消去14,642千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△574,463千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、中期ビジョン実現に向けて今後、住まいと暮らしを支える人々のマネジメントスタイルの変革支援を事業の中心において、住まいの安全・安心・快適を推進することからマネジメントアプローチによる管理を一層強化するため、報告セグメントの名称変更とサービスの事業軸の見直しを行いました。これにより、「社宅管理事務代行事業」を「社宅マネジメント事業」に、「施設総合管理事業」を「マンションマネジメント事業」に、「その他事業」を「インキュベーション事業」にそれぞれ変更し、従来「その他事業」に含まれておりましたコスト削減サービスを「社宅マネジメント事業」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間のセグメント区分に基づき組替えたものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「インキュベーション事業」セグメントにおいて、無形固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において25,163千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「インキュベーション事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんが減少しております。当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において2,361千円であります。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)に当該のれんの減損も含めて記載しております。